北海道財務局

1. 国有財産を活用した地方創生の取組(高校生レストラン)	局	地方創生支援 国有財産	22
2. 国有地のジュエリーアイス観光駐車場への活用	帯広	地方創生支援 国有財産	23
3.「ツナガリPT」等による子育て世代向け情報発信	局	広報相談	24

国有財産を活用した地方創生の取組(高校生レストラン)

旧産炭地である三笠市は、地方創生の取組として、「食をテーマとした産業の構築」をテーマに、拠点施設として、調理実習研修施設(高校生レストラン)を整備。(オープン予定:平成30年7月22日) 北海道財務局は、その敷地として現在無償貸付中の国有地の活用について対応・貢献した。

概要

高校生レストランとは?

「食」をテーマとした三笠市の地方創生の取組として整備する調理実習研修施設。三笠高校生に管理運営から 調理提供までの取組を経験させ、調理、接客、経営な ど総合力の向上を図る。

整備費として、地方創生拠点整備交付金を活用する。



(提供:三笠市教育委員会)

~北海道三笠高校~

平成24年春、道内初の食物調理(調理師・製菓)専門の市立高校として開校。各種コンテストで全国1位・大臣賞受賞などの成果。道内高校トップクラスの入試倍率を誇る。(生徒数:約120名)

取組の成果と今後の展開

- 国有地の活用・貢献
- ・三笠総合運動公園の一部として約3.8ha(東京ドームグランド約3面分)の国有地を三笠市に無償貸付中。
- ・同国有地を活用しての取組について、施設計画策定段階 から協議に対応し、アドバイス等を行った。
 - ~平成29年6月利用計画変更承認。

実習風景

以京 型]





(提供:三笠市教育委員会)

○ 今後の展開等

調理部

高校生レストランは、「食のまち・三笠」の拠点施設として、周辺への食関連店舗の進出や特産品ブランド化など、 地域の雇用創出等地域経済の好循環が期待されている。

国有地のジュエリーアイス観光駐車場への活用

一級河川十勝川の河口に位置する豊頃町大津地区は、食の王国「十勝」開拓発祥の地。

体感温度-20℃超の厳しい寒さ、十勝川の清流、太平洋の荒波が作り出す「ジュエリーアイス」を見るため国内外から大津地区を訪れる観光客が増えていることから、観光駐車場整備に国有地を活用したもの。

概要

○ ジュエリーアイスとは?

厳冬期に一級河川十勝川の氷塊が太平洋まで流れ、荒波に磨かれて海岸線に打ち上げられた氷が、太陽に照らされ輝いている姿が宝石のようと名付けられた。

このように海岸に打ち上げられている場所は豊頃町大津地区以外になく、最近では国内外のメディアに取り上げられ、国際的にも注目されており、北海道内外・海外の観光客を集めている。



+

(提供:豊頃町)

(提供:豊頃町)

観光駐車場整備の必要性·緊急性

写真愛好家等観光客が急激に増えている状況にあり 市街地に駐車場が少なく、路上駐車する観光客も多く、 地域住民の要望もあって、観光駐車場整備が強く求め られていた。

取組の成果と今後の展開

- 国有地の活用・貢献
 - ・ジュエリーアイスの打ち上げられる大津海岸にほど近い 国有地と町有地を併せて整備することで、住民生活の平 穏と観光客利便の向上が図られることとなった。
 - ・1月からのシーズンに間に合わせるため早期売却対応。 ~平成29年11月17日 売買契約~



○ 今後の展開等

(提供:豊頃町)

・厳冬期の自然現象であり、期間は極く限られているものの、大津地区の鮭をはじめ、豊頃町の農水産物等は品質も高く、他の観光資源のみならず地場産品への注目を集めるきっかけとなることが期待される。

「ツナガリPT」等による子育て世代向け情報発信

北海道財務局の中堅・若手職員によるプロジェクトチーム「ツナガリPT」が、地方公共団体やNPO法人と連携し、子育て世代に向け情報を発信。また、各財務事務所・出張所においても、同様の取組を推進。

概要

ツナガリPTの取組



- 「ツナガリ」が期待できる
 団体等を"発掘"
- 2. 団体等へアプローチ、「ツナガリ」を模索
- 3. 団体等との「ツナガリ」 から連携を強化
- 4. 外部へ向けた情報発信

子育て世代向け情報発信

地方公共団体・NPOと連携し、子育て世代に情報発信。



子育て支援NPO法人の主催講座でくるまざ 勉強会「子育て世代の「おかね」のはなし」を 実施。



地方公共団体主催プレママ・プレパパ向け イベントで「子育て世代のマネープラン コーナー | を実施。

取組の成果と今後の展開

取組の成果

参加者、主催者ともに好評。一部の取組は次回のお誘いも。

参加者より

- ・今日伺った話を持ち帰って、夫とライフプランについて 話し合いたい。
- ・再び働きに出るか考える上で「〇〇〇万円の壁」の具体 例が非常に参考になる。
- ・第3子を望むか否かで悩んでいたが、今日の説明を聞いて 糸口が見えたように思う。

主催者より

- ・身近で関心のある「おかねのはなし」ということで、皆 真剣に話しを聞いて頂けた。
- ・参加者から好評だったので、次回以降もお願いすること を考えたい。

当日の模様を北海道財務局Facebookに投稿。参加者等に 投稿をシェアして頂くことも。

今後の展開

参加者と主催者の二一ズに応えた子育て世代向け情報発信の担い手を育成し、新規連携先を"発掘"していく。